

取扱説明書

ロングライトバス

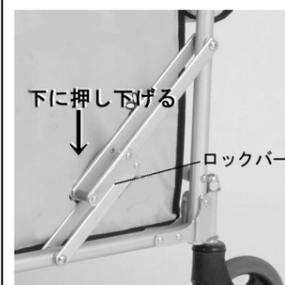
※諸注意※

- 指を挟まないために、折りたたみ・組み立ての際は所定の箇所を持ち、十分注意して行って下さい。
- 段差を乗り越える際は、後ろ向きになり、車体を引き上げるようにして下さい。正面から勢いを付けて乗り上げようとしないで下さい。思わぬ事故や破損に繋がります。
- ゴムタイヤはビニール床の上に置くと床を変色させる恐れがありますのでご注意下さい。



押し棒の高さは2段階選べます。

組み立てる時



折りたたむ時



組み立て方

- 足元の開きどめベルトをはがし、車体を前後に徐々に開き、全開にします。
- ロックバーを上から強く押し下げてロックします。(前後左右1箇所ずつ 計4箇所)
- 両サイドのハンモックを、バックル(左右4箇所 計8箇所)で車体に取り付けます。
- 底板を車体に入れます。その際、底板裏面にある2本の板の間に、車体底面にある丸棒が入るように入れて下さい。



底板裏面

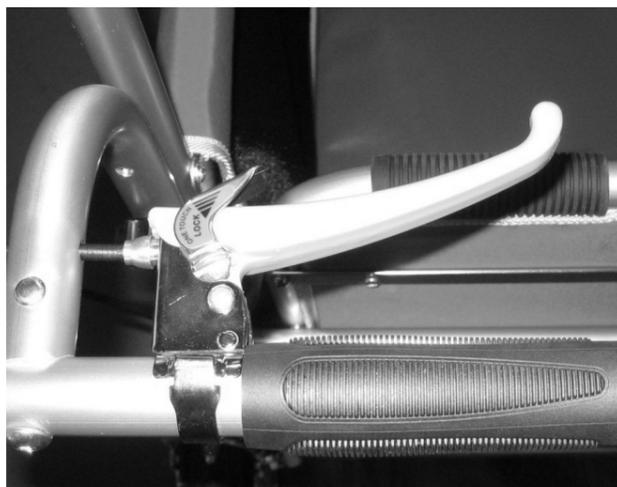


開きどめベルト

折りたたみ方

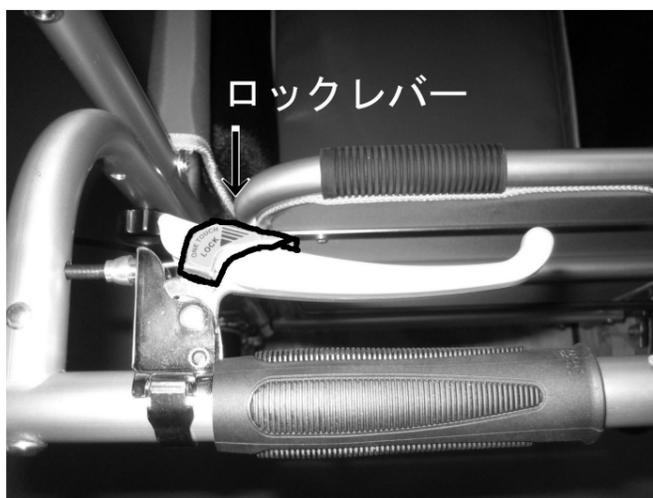
- 底板を外すか、車体内側に垂直に立てかけて下さい。
- 両サイドのハンモックのバックル(左右4箇所 計8箇所)を外します。
- ※ バックルを外さないで折り畳むとバックルを破損します。ご注意下さい。
- ロックバーの水色の部分を持ち、上に強く引きロックを解除します。
- 車体を前後に徐々に閉じます。(前後どちらかを先に折りたたみ、その後にもう片方を折りたたむようにすると折りたたみやすいです。)
- 開きどめベルトをはり付けて下さい。

ハンドブレーキの扱い方



- ブレーキレバーを握りしめるとブレーキがかかります。
 - はなすと解除されます。
- ※なるべく左右を同時にかけるようにして下さい。
 ※ハンドブレーキの可動部に指を挟まないよう注意して下さい。
 ※このブレーキレバーは、左右の区別がない物を左右裏表にして使っています。そのため、左側のブレーキレバーが裏向きになっていますが、取り付け不具合ではありません。ご了承下さい。

ブレーキロックの扱い方 (ストッパー)



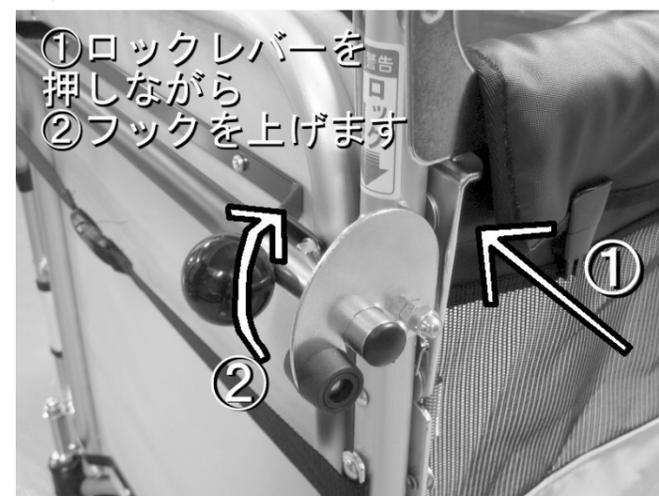
- ハンドブレーキを握ったまま、オレンジ色のロックレバーを握ると、ブレーキがロックされます。(ストッパーが掛かります)
- 解除する時は再度ブレーキレバーを握って放すと解除されます。

※このブレーキロックは乗り降り時用です。未使用時に掛け続けるとワイヤーの劣化の原因になりますのでおやめください。
 ※折りたたむ際は、必ずロックを解除した状態で行って下さい。ロックを掛けたまま折りたたむとワイヤーの破損の原因になります。
 ※ブレーキロックをかける時は、必ず左右ともかけて下さい。
 ※ロックレバーの可動部に指を挟まないよう注意して下さい。

可動式スロープの扱い方

スロープの開き方

- ベルトバックルを外します。
 - フック奥のロックレバーを押しながら、フックを上へ上げます。
- ※左右のフックを、片側ずつ上げるようにして下さい。



- スロープに手を添え、ゆっくり手前に下ろします。
- ※スロープを開く際、勢い良く下ろさないで下さい。故障や、思わぬ事故の原因になる場合があります。
 ※スロープを開く時は、必ずブレーキロックを掛けた状態で行って下さい。スロープが開いた状態で車体を動かすと、スロープの破損に繋がります。

スロープの閉じ方

- スロープを上げます。(子供の手などを挟まないよう注意して下さい)
- 左右のフックを下ろします。その際、「カチッ」と音がするまで下ろして、ロックが掛かっている事を確認して下さい。



- ベルトバックルを掛けます。

製造元 **五十畑工業株式会社**

〒131-0033 東京都墨田区向島1-29-9
 TEL 03-3625-1463 FAX 03-3625-1468
<http://www.iso-hata-swan.co.jp/>